こうふ未来創り重点戦略プロジェクト施策・事業に係る進捗状況等一覧

NO.	基本政策	施策・事業等の名称 ※＞は、関連する施策・事業	概要	平成28年度の取り組み状況							今後の予定						所管部・課
				平成２８年度	平成２８年度の予定	平成28年度の進捗	主な実績等	課題等	主な実績等に係る事業名等	平成２８年度実績額（単位：千円）	平成２９年度	平成２９年度の予定	平成２９年度に実施予定の事業名等	平成２９年度当初予算額（単位：千円）	平成３０年度（予定）	平成３１年度（予定）	
9	（２） 「人生を思いきり楽しめるまち」を創る	地域包括ケア体制の構築 ①介護予防・日常生活支援総合事業の実施 ②在宅医療・介護連携の推進 ③認知症対策の推進	地域包括ケア体制の構築 甲府スタイルの地域包括ケア体制の構築に向け、「介護予防・日常生活支援総合事業の実施」、「在宅医療・介護連携の推進」、「認知症対策の推進」などの重点事業に早急に取り組むとともに、制度の動きを的確に把握しながら、地域や関係団体のありかを含めた「地域包括ケア推進計画（アクションプラン）（仮称）」を策定し事業を推進していく。 ① 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 高齢者が要介護状態等となることの予防や、要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止を目的とした訪問型・通所型・生活支援サービスなどの多様なサービスを、平成28年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業として一体的に提供する。 ② 在宅医療・介護連携の推進 医療や介護が必要な状態となっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、関係機関が連携し、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築する。 ③ 認知症対策の推進 認知症地域支援推進員の配置や、認知症初期集中支援チームの設置に向けた取組を進めるほか、地域や企業などの協力を得る中で、認知症高齢者等を見守るネットワークの構築や認知症高齢者を抱える家族の支援など、総合的にフォローする体制づくりを推進する。	準備	地域包括ケア体制の構築に向けた基本方針を策定（H28.5）	B	地域包括ケア体制の構築に向けた基本方針を予定通り策定した。	平成29年度の第6次高齢者支援計画の策定にあたっては、地域包括ケア体制を推進する各事業の実施などの実行計画を包括したものとしていく。	3-2-1 包括的支援事業	262,461							福祉保健部 地域包括支援課
				実施	①介護予防・日常生活支援総合事業の実施 生活支援サービスの検討を行うための協議体の発足に向けて準備を行う。	A	甲府市生活支援連携会議を設置した。 →平成28年10月から第1層（甲府市全体）の協議体として甲府市生活支援連携会議を設置し、事業の推進に向けた協議を3回行った。	・甲府市社会福祉協議会に委託を行い、第2層（概ね地域包括支援センターの担当エリア）協議体の設置に向けた取り組み。 ・甲府市社会福祉協議会や地域包括支援センターと協働する中で事業説明会の開催。	3-2-4 生活支援体制整備事業	112	推進	・生活支援体制整備事業を甲府市社会福祉協議会に委託を行い、生活支援コーディネーターを配置し、第2層協議体の設置に向けた取組を行う。 ・制度の理解の促進と住民全体の取り組みが重要であることを啓発するため、甲府市社会福祉協議会や地域包括支援センターと協働する中で事業説明会を開催する。 ・住民主体による家事援助サービスについては、第１層の協議体を経て、実施可能な地域から取り組んでいく。	3-2-4 生活支援体制整備事業	8,132	推進	推進	
				準備	②在宅医療・介護連携の推進 ②-1　5月広報誌の配布に合わせ、小冊子を全戸配布した。 ②-2　在宅医療と介護の連携についてのアンケート結果を踏まえ検討する。 ②-3　「甲府市在宅医療・介護連携推進会議」を継続して開催する。	A	②-1　市民向けリスト「こうふ医療・介護情報」を作成し、4月下旬に全戸配布を行った。 ②-2　「在宅医療・介護連携に関するアンケート調査」結果の分析について、第3回の提供体制構築WGにおいて意見交換を行うとともに、分析結果を速やかに公表した。 ②-3　医療関係者、介護関係者、学識経験者、行政関係者等の構成による「甲府市在宅医療・介護連携推進会議」を開催した。 代表者会議……2回 相談体制構築WG…5回 提供体制構築WG…5回	・「甲府市在宅医療・介護連携推進会議」の定期的な開催。 ・「医療・介護連携　顔の見える関係づくりの交流会」の継続開催。 ・市民の利便性向上と経費の効率的執行のため、「こうふ医療・介護情報」と「わかりやすい介護保険のまとめ」を統合。	3-2-2 在宅医療・介護連携推進事業	14,818	準備	・「甲府市在宅医療・介護連携推進会議」を引き続き開催する。 ・「医療・介護連携　顔の見える関係づくり交流会」を、地域包括支援センターのエリア6地区で開催する。 ・「こうふ医療・介護情報」は「わかりやすい介護保険のまとめ」に統合し、平成30年3月に作成、4月に全戸配布を行う。	3-2-2 在宅医療・介護連携推進事業	21,095	準備	準備	
				推進	① 認知症対策の推進 ①-1　甲府市認知症支援総合対策実施方針の策定。 ・認知症予防教室の実施に向けた検討。 ・認知症支援ボランティアの実施に向けた検討。 ・法人後見の推進、市民後見人の育成と支援に向けた検討。 ・認知症初期集中支援チームの設置に向けた検討。 ②-2　認知症カフェを拡大する。 ③-3「甲府市高齢者見守りネットワーク事業」での協力事業者の拡充を図る。	A	①-1　「甲府市認知症支援総合対策実施方針」を策定し、「認知症予防教室の開催」、「認知症初期集中支援チームの配置」、「認知症ボランティアの育成」、「法人後見の推進、市民後見人の育成と支援」について、平成２９年度からの新規事業として実施するための準備を行った。 ②-2 認知症カフェの開催場所を1か所から2か所にし、認知症の方やその家族の精神面における負担軽減に寄与した。 ③-3　甲府市内で事業を展開する民間事業者4業者と協定を締結した。	②-2　認知症カフェの利用者の拡大につながるよう、認知症カフェ運営事業者同士での情報交換や研修等を検討する。 ③-3　甲府市高齢者見守りネットワーク事業の推進を図るための協力事業者の拡充を図るとともに、協力事業者等による定期的な情報交換や協議の場を設けることを検討する。	3-2-3 認知症総合支援事業 3-3-1 認知症高齢者見守り事業 3-5-1 介護予防普及啓発事業 3-5-1 地域介護予防活動支援事業	930 289 1,963 23,542	推進	平成２８年度に策定した「甲府市認知症支援総合対策実施方針」における新規事業（①～④）を実施する。 ①認知症予防と改善教室を開催する。 ②認知症初期集中支援チームを設置する。 ③認知症支援ボランティアを養成する。 ④法人後見の推進、市民後見人の育成と養成を行う。 上記の他 ・認知症カフェの設置(5か所)及び運営、もの忘れ相談体制の更なる両知、介護予防に資する基本的な知識と普及啓発する活動などを行う。	3-2-3 認知症総合支援事業 3-3-1 認知症高齢者見守り事業 3-5-1 介護予防普及啓発事業 3-5-1 地域介護予防活動支援事業	8,906 931 4,271 326	推進	推進	
10	（２） 「人生を思いきり楽しめるまち」を創る	生涯学習の更なる推進	すべての市民が、生きる喜びと希望を持ち、人生の充実を感じて暮らしていけるよう、「こうふエンジン02（注3）（仮称）」の開催を往じめ、様々な質の高い芸術文化に触れる機会を創出する。 また、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生活を送っていけるよう、それぞれのライフステージにあったスポーツを身近に楽しめる取組を進め、心身両面から健康の増進に努めるとともに、ウォーキングやトレイルランなど、豊かな自然環境等を活かしたスポーツ振興と情報発信に努め、甲府の魅力を高める。 （注3）平成25年度に実施されたエンジン01文化振興会議に引き続き、2回目となる文化人による講座などの実施。	推進	引き続き、生涯学習のさらなる推進に努め、積極的かつ効率的な事業展開を図る。大学との連携を行いスポーツ教室の拡充を図るとともに、新たな「山の日」制定に伴い、登山教室を林政課との共催開催を検討して行く。	B	市民に質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供するため、次の事業を実施した。 ・歌舞伎　「市川蔦弟の歌舞伎ウラオモテ」（9月11日）参加者　390人 生涯スポーツについては、各種大会及び巡回スポーツ広場を次のとおり実施した。また、地域資源の一つである大学の指導者及び施設を活かしたスポーツ教室を実施した。 ・市民体育大会　参加者 7,281人 夏季大会（平成28年9月4日） 冬季大会（平成29年2月5日・19日） ・ライフスポーツ大会（11月6日）参加者 1,307人 ・ウォーキング大会（11月27日・3月26日悪天候により中止）参加者 63人 ・スポーツ教室 年間15教室開催　参加者 546人 ※うち大学による教室含む ・巡回スポーツ広場（10月23日）参加者 38人 ・トレイルランニングレース（12月13日）参加者 491人	市民体育大会の参加者の減少が見られることから、各年齢層で参加しやすい種目の検討が必要。 ライフスポーツ大会の参加者が高齢化していることから、若年層の参加者の拡大を図る。	10-7-2 文化振興基金事業費 10-8-2 スポーツ振興事業費	1,000 4,406	推進	「出前講座制度」や「まなびポイント制度」の利用促進を図るなど、すべての市民が多様な機会を通じて、共に学び、共に深め合いながらが、自らの人生を豊かにする取組を継続していく。	10-7-1 生涯学習振興事業費	4,556	推進	推進	教育部 生涯学習文化課 スポーツ課
11	（２） 「人生を思いきり楽しめるまち」を創る	ユニバーサルデザインの推進	年齢・性別・国籍・障がいの有無など個人の様々な状況に関からず、誰もが参加しやすく、暮らしやすい地域社会を創るため、ハード整備だけでなく、提供されるサービスや情報などソフト面を含めたユニバーサルデザインの考え方を基調とする幅広い視点に立った施策を進める。	推進	引き続き、ユニバーサルデザインについて普及啓発を図っていく。	B	施設や道路等のハード面に限らず、提供するサービスや情報等のソフト面も含め、「甲府市ユニバーサルデザインガイドライン」に基づいた取組を推進した。	なし	―	―	推進	施設や道路等のハード面に限らず、提供するサービスや情報等のソフト面も含め、「甲府市ユニバーサルデザインガイドライン」に基づいた取組を推進する。	―	―	推進	推進	企画部 企画課
				準備	甲府駅南口自由通路内エレベーターの設置に伴う設計等の検討を行っていく。	B	・甲府駅南口のエレベーター設置工事に必要な設計等を委託した。 ・甲府駅南口のエレベーター設置工事に関わる施工協定等をJRと締結した。	・山梨県や JRなどの関係機関と協議・調整を行い、計画的に事業の進捗を図る。	8-3-1 甲府駅南口周辺地域修景計画整備事業費	11,674	推進	・甲府駅南口にエレベーターを設置する。 ・甲府駅南口のエスカレーターを24時間稼動に改修する。	8-3-1 甲府駅南口周辺地域修景計画整備事業費	404,100 （繰越明許費）	―	―	建設部 都市計画課